平成27年度事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 一般会計

財源内訳 評価に基づく今後の対応 事業区分 期 実行予算 平成 拡 継 理 縮 休 廃 の 完 充 続 統 減 止 止 見 了 他 見直し額 福井ふるさと元気宣言 経過 その他 関連する県の計画等 開始 名 28年度 における位置付け 年数 区分 経費区分 国庫 起債 特定 年度 予算額 財源 直し 0 福井鉄道設備更新特別支援事業 継続 政策的経費 元気な県土 177,750 177,750 H20 $|\circ|$ 0 継続 政策的経費 元気な県土 3 276,200 276,200 路面電車走行空間快適化事業 H26 0 継続 政策的経費 元気な県土 lol 15 えちぜん鉄道基盤整備支援事業 177,826 175,000 2,826 0 えちぜん鉄道高架化支援事業 継続 政策的経費 元気な県土 H16 13 244,850 244,000 850 嶺南地域鉄道事業化推進事業 継続 政策的経費 元気な県土 0 20 396 396 0 H9 継続 元気な県土 lo 300.000 300.000 0 嶺南地域鉄道整備対策事業 政策的経費 H10 19 |o|0 継続 政策的経費 元気な県土 16 461,946 461,946 生活バス路線確保対策事業 H13 0 継続 政策的経費 元気な県土 000 10 14,093 クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業 H19 14,093 新規 政策的経費 元気な県土 會 自転車利用促進事業 H28 3,123 3,123 0 0 継続 政策的経費 元気な県土 11 小松空港国際線利用促進事業 2,500 0 O 山里口御門整備事業 継続 政策的経費 元気な県土 H25 4 300,940 102,775 108,000 4,899 85,266 △ 224,921 動 まちなか歴史資源見える化事業 継続 政策的経費 元気な県土 0 H28 17.998 17.998 「福の井」再整備事業 継続 政策的経費 元気な県土 0 H27 2 87,557 87,557 0 継続 4 0 県都デザイン戦略推進支援事業 政策的経費 元気な県土 H25 133,379 133,379 △ 28,335 0 継続 政策的経費 元気な県土 2.651 福井駅広場恐竜王国ふくい推進事業 H26 2,651 △ 16,012 2,201,209 3 102,775 527,000 4,899 1,566,535 10 △ 269,268

福井鉄道設備更新特別支援事業

— ~	444	/= ±5	— ~	-1 11 An				45		۸۰ ۸ - ۱ ۱ - ۱ - ۱		-m - -	-L 177		ı =m	-m = -	V4.14	
区分	継続			政策的経費		リング	外	部)	局名	総合政策部	_	課名	交通る	まちづくり T		課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさと		■ 政推构	゜ビジョン			な県土] ±	*	国庫		実行予算	事業	H20	年度	車業级フ		
における位	立直付け		政 第	〔 美しい	県土、楽し	く便利なま	ちの形成		業 分 ■	県 単	■ :	補 助 金		経過年数	ζ	│ 事業終了 │ 予定年度	29	年度
関連する県の	の計画等	()		その他		その他	年度	9	年			
 [事業内容] 〇補助				ため、福井	鉄道に対す	‡る10±	₹間の支持	爰計画に基	づき、安	全な運行	に必要	要な設備技	投資等に	要する	経費に	対して支援	を行う。	0
[予算額の推	[移等]																(単位:	: 千円)
[予算額の推	[移等] 区	分		2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	3 0 年度				主な均	曽減理由	3	(単位:	: 千円)
			移	2 4 年度 341, 268										主な均	曽減理由	3	(単位:	: 千円)
当	区	額の推			252, 694	179, 650		177, 750			整備生	手次計画に	よる事業		曽減理由	3	(単位:	: 千円)
当	区 á 初 予 算 引 現 計 予	額の推		341, 268	252, 694 252, 694	179, 650 179, 650	174, 252	177, 750			整備全	年次計画に	よる事業		曽減理由	3	(単位:	: 千円)
当	区 á 初 予 算 i 現 計 予 決 算 額	額の推算額の		341, 268 335, 684	252, 694 252, 694	179, 650 179, 650	174, 252	177, 750			整備名	手次計画に	よる事業		曽減理由	3	(単位:	: 千円)
当 2 月	区 á 初 予 算 i 現 計 予 決 算 額	額の推算額の		341, 268 335, 684 335, 677	252, 694 252, 694	179, 650 179, 650 179, 650	174, 252 174, 252	177, 750			整備名	手次計画に		費の増加		· 積算根拠	(単位:	: 千円)
2 月 [成果指標等	区 á 初 予 算 引 現 計 予 決 算 額 の推移] 区	額の推算額のの推移の推移	推移	341, 268 335, 684 335, 677 2 4 年度	252, 694 252, 694 251, 765 2 5 年度	179, 650 179, 650 179, 650 2 6 年度	174, 252 174, 252 2 7 年度	177, 750	41, 986	3 0 年度			目標	費の増加・指標の	考え方・	積算根拠	(単位:	: 千円)
当 2 月 [成果指標等	区 前初予算 引現計予 決算額 の推移]	額の推算額のの推移の推移	推 移 人員	341, 268 335, 684 335, 677 2 4 年度 標) (1, 877)	252, 694 252, 694 251, 765 2 5 年度 (1, 924)	179, 650 179, 650 179, 650 2 6 年度 (1, 930)	174, 252 174, 252 2 7 年度	177, 750	41, 986 2 9 年度	3 0 年度	福井釗	年次計画に 鉄道福武線 : 年間利用	目標の年間利	費の増加 ・指標の ³ 用人員(¹	考え方・ 単位: ⁼	·積算根拠	(単位:	: 千円)
2 月 [成果指標等	区 á 初 予 算 引 現 計 予 決 算 額 の推移] 区	額の推算額のの推移の推移	推 移 人員 (目 実	341, 268 335, 684 335, 677 2 4 年度 標) (1, 877) 績 1, 778	252, 694 252, 694 251, 765 2 5 年度 (1, 924)	179, 650 179, 650 179, 650 2 6 年度 (1, 930)	174, 252 174, 252 2 7 年度	177, 750	41, 986 2 9 年度	3 0 年度	福井釗	铁道福武線	目標の年間利	費の増加 ・指標の ³ 用人員(¹	考え方・ 単位: ⁼	·積算根拠	(単位:	: 千円)
2 月 [成果指標等	区 á 初 予 算 引 現 計 予 決 算 額 の推移] 区	額の推算額のの推移の推移	推 移 人員 (目 (目	341, 268 335, 684 335, 677 2 4 年度 標) (1, 877) 損 1, 778	252, 694 252, 694 251, 765 2 5 年度 (1, 924)	179, 650 179, 650 179, 650 2 6 年度 (1, 930)	174, 252 174, 252 2 7 年度	177, 750	41, 986 2 9 年度	3 0 年度	福井釗	铁道福武線	目標の年間利	費の増加 ・指標の ³ 用人員(¹	考え方・ 単位: ⁼	·積算根拠	(単位:	: 千円)
2 月 [成果指標等 成果指標 活動指標	区 前初予算 引現計予 決算額 の推移] 区 福井鉄道福	額の推算額のの推移の推移	推 移 人員 (目 (目	341, 268 335, 684 335, 677 2 4 年度 標) (1, 877) 績 1, 778	252, 694 252, 694 251, 765 2 5 年度 (1, 924)	179, 650 179, 650 179, 650 2 6 年度 (1, 930)	174, 252 174, 252 2 7 年度	177, 750	41, 986 2 9 年度	3 0 年度	福井釗	铁道福武線	目標の年間利	費の増加 ・指標の ³ 用人員(¹	考え方・ 単位: ⁼	· 積算根拠 千人)	(単位:	: 千円)
当 2月 [成果指標等 成果指標 活動指標 [財源内訳・	区	額の推算額のの推移 分	推 移 人員 (目 実 目 実	341, 268 335, 684 335, 677 2 4 年度 標) (1, 877) 積 1, 778 標)	252, 694 252, 694 251, 765 2 5 年度 (1, 924) 1, 902	179, 650 179, 650 179, 650 2 6 年度 (1, 930) 1, 934	174, 252 174, 252 2 7年度 (1, 936)	177, 750 2 8 年度 (1, 944)	41, 986 2 9 年度 (2, 010)	3 0 年度	福井釗	鉄道福武線 : 年間利用	目標 の年間利 者数2,010	費の増加 ・指標の3 用人員(! 0千人(H2	考え方・ 単位: - 29年度)	· 積算根拠 F人)	(単位:	: 千円)
2 月 [成果指標等 成果指標 活動指標	区	額の推算額のの推移の推移	推 移 人員 (目 実 目 実	341, 268 335, 684 335, 677 2 4 年度 標) (1, 877) 損 1, 778	252, 694 252, 694 251, 765 2 5 年度 (1, 924) 1, 902	179, 650 179, 650 179, 650 2 6 年度 (1, 930)	174, 252 174, 252 2 7年度 (1, 936)	177, 750	41, 986 2 9 年度 (2, 010)	3 0 年度	福井釒目標	鉄道福武線 : 年間利用 事業主体	目標 の年間利 者数2,010	費の増加 ・指標の ³ 用人員(I 0千人(H2	考え方・ 単位: - 29年度)	· 積算根拠 F人)	(単位:	: 千円)
当 2月 [成果指標等 成果指標 活動指標 [財源内訳・	区	額の推算額のの推移 分	推 移 人員 (目 実	341, 268 335, 684 335, 677 2 4 年度 標) (1, 877) 積 1, 778 標)	252, 694 252, 694 251, 765 2 5 年度 (1, 924) 1, 902	179, 650 179, 650 179, 650 2 6 年度 (1, 930) 1, 934	174, 252 174, 252 2 7年度 (1, 936)	177, 750 2 8 年度 (1, 944)	41, 986 2 9 年度 (2, 010)	3 0 年度	福井針目標	鉄道福武線 : 年間利用	目標 の年間利 者数2,010 本 本 方法	費の増加 ・指標の3 用人員(! 0千人(H2	考え方・ 単位:= 29年度) i株式会	· 積算根拠 千人)	(単位:	: 千円)

事 業 名	名	福井鉄道設備更新特別支援事業		部局名	総合政策部	間	果名	交通ます	ちづくり誤	Ŗ	課長名	猪嶋 宏記
	活	背景] 性化連携協議会でとりまとめた福井鉄道 援を行う必要がある。	道に対する10年間のま	を援計画に	基づき、県、氵	公線 3 市	î等と連携	もして支	₹援を行 [∙]	ってお	らり、県は [:]	福井鉄道の安
[受益者]				[想定され	る受益者数]							
福井鉄道福武線利	川	者など		約1937	5人(福井鉄道	直福武線	利用人員	・平成	26年度	表末時	点実績)	
他県の状況		(石川県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への対 道」と「のと鉄道」に補助(両鉄道事業者 (富山県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に対 万葉線」と「富山地方鉄道」に補助(万葉線地方鉄道:国1/3、県1/4)	: 国1/3、県1/3) する補助として「(路)	前事業の)有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)	事業					
関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 路面電車走行空間快 (役割分担) ・路面電車走行空間快適化事業において、路前施 (石畳敷設替、レール交換など)		市町と	の連携状況		道に対して資、沿線で					1 0 年間で県が
[事業の評価]			444		. = .				-1- 1			
口捶利田!早400	<u> </u>	前年度の実績	実績を踏まえ)変更点				事	業評価		
日標利用人員 93	5 D.	人に対して、193.4万人達成	計画どおり事業を実施見	<i>፞</i>		•	拡充 継続 整理統合		縮減 休止 廃止		発期の見直し 完了 その他	見直し額

路面電車走行空間快適化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	i	総合政策部	3	課名	交通	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさと		■ 政推枠 ビジ	ョン〔	元気な県土)	古 **		国 庫		実行予算	事業	H26	年度	古光幼フ		
における位	江道付け	政	策 〔 美しい県	土、楽しく便利なま	ちの形成 〕	事業区分	•	県 単		補助金		経過年数		事業終了 予定年度	29	年度
関連する県の	の計画等	()			その他		その他	年度	3	年			

[事業目的]

福井鉄道の路面軌道区間については、老朽化に伴う軌道のゆがみにより、車両の揺れによる快適性の低下や、不揃いな石畳による都市景観上のイメージダウンが課 題である。そのため、福井鉄道が実施する路面軌道の改修に要する経費に対して支援を行う。

[事業内容]

〇補助内容

路面軌道の改修

(石畳敷設替、レール・マクラギ・道床の交換)

平成28年度改修延長 645m (裁判所前交差点付近~市体育館入口)

[予算額の推移等] (単位:千円)

区	分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当 初 予 算 額 <i>o</i> .)推 移			134, 818	237, 494	276, 200	265, 837		
2 月 現 計 予 算 額	の推移			133, 262	237, 494				整備年次計画による事業費の増加
決算額の推	移			131, 837					

[成果指標等の推移]

	区 分		2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	福井鉄道福武線利用人	昌 (目標)	(1, 877)	(1, 924)	(1, 930)	(1, 936)	(1, 944)	(2, 010)		福井鉄道福武線の年間利用人員(単位:千人)
八人不 1日 1示		 実績_	1, 778	1, 902	1, 934					目標:年間利用者数2,010千人(H29年度)
】 活動指標		(目標)								
7日301日1示		実績								

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井鉄道株式会社
予算額	276, 200				276, 200	事業実施方法	補助
了异似	270, 200				270, 200	補助率	県1/2、国1/2

事 業 名	路面電車走行空間快適化事業		部局名	総合政策部	課名	交通す	まちづくり記	課課長名	猪嶋 宏記
[事業の必要性・要求の)背景]	-	•		-			-	-
	道区間については、老朽化に伴う軌道の 5年6月に実施された中部運輸局の保留								
[受益者]			[想定される	5受益者数]					
福井鉄道福武線利用	者など		約1937	5人(福井鉄道福	試線利用人	員・平月	成26年月	度末時点実績)	
他県の状況	(石川県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への 道」と「のと鉄道」に補助(両鉄道事業者 (富山県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に対 万葉線」と「富山地方鉄道」に補助(万葉 地方鉄道:国1/3、県1/4)	: 国1/3、県1/3) する補助として「(路)	前事業の		無 有 事 実績)	茎業名			
関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 福井鉄道設備更新特 (役割分担) ・福井鉄道設備更新特別支援事業において、表の支援計画に基づき、安全な運行に必要な設	福井鉄道に対する10年間	市町との	D連携状況			_	-	
[事業の評価]									
	前年度の実績	実績を踏まえ		変更点			事:	業評価	
目標利用人員193万 	人に対して、193.4万人達成	計画どおり事業を実施見る	込み		□ 拡	充	縮減	□ 終期の見直し	見直し額
					■総	続□	休止	□ 完了	
					□ 整理	統合 □	廃止	□ その他	

えちぜん鉄道基盤整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	i	総合政策部	課名	交通	まちづくり)課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさとにおける位		■ 政推枠 ビジ 政		元気な県土	〕 ちの形成 〕	事業		国庫県単	実行予算補助金	事業開始	H14 経過年数	年度	事業終了	33	年度
関連する県の	の計画等	[]	区分		その他	その他	年度	15	年	予定年度		

[事業目的]

えちぜん鉄道活性化連携協議会における、沿線市町とのえちぜん鉄道に対する10年間の行政支援にかかる合意事項に基づき、「設備投資」、「資産取得等」に要 する経費に対して支援を行う。

[事業内容]

〇補助内容

- ・レールや分岐器の重軌条化、PCマクラギ化、橋梁補修など
- ・鉄道事業に供する土地・建物の賃借料

[予算額の推移等]	(単位:千円)
-----------	---------

区 分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移	312, 445	199, 470	206, 044	69, 845	177, 826	170, 209	91, 483	
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	319, 304	199, 470	137, 576	69, 845				整備年次計画による事業費の増加
決算額の推移	309, 874	199, 029	136, 416					

[成果指標等の推移]

	区	分		2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	えちぜん鉄道	道利用人員	(目標) 実績	3, 257	3, 297	3, 289					えちぜん鉄道の年間利用人員(単位:千人) 目標:年間利用者数3,330千人(H33年度)
活動指標			(目標)								

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	えちぜん鉄道株式会社
予算額	177, 826		175, 000		2, 826	事業実施方法	補助
了异似	177, 020		173, 000		2, 020	補助率	県2/3、国1/3

事	業	名	えちぜん鉄道基盤整備支援事業		部局名	総合政策部	課名	交通	iまちづくり訳	課長名	猪嶋 宏記
・えちも		活性	・ 背景] 化連携協議会で合意したえちぜん鉄道浴 および「鉄道運行に必要な資産取得等」			基づき、「社会	- 陰資本の維持	に必要な	な経費」は	──' 公線市町、「 §	安全な鉄道運行
 [受益者: えちぜん		用者	など			る受益者数] 5人 (えちぜん	鉄道利用人	員・平成	戊26年度۶	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
他!	県の状況		 (石川県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への設立」と「のと鉄道」に補助(両鉄道事業者(富山県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に対す万葉線」と「富山地方鉄道」に補助(万葉線地方鉄道:国1/3、県1/4) 	: 国1/3、県1/3) する補助として「(路)	前事業の	有無・実績	・ えちぜん鉄; ・ えちぜん鉄; を行ってき; 大規模な設((平成144	た。その約 構投資につ ∓度から平	する安全性確信 吉果、列車集 ついては、ほ F成23年度)	中制御化や変電所 ず完了	投資に対して補助 fの改良といった
	基業の有無 対割分担	•	■ 無 □ 有 事業名 えちぜん鉄道高架化式(役割分担) ・えちぜん鉄道の高架化にかかるえちぜん鉄道		市町と	の連携状況				軍度〜平成33 ⁴ への支援を行う。	F度の10年間で
[事業の	評価]		前午座の宝繕	実績を踏まえ	た 2 0 年度/	亦 市 占			車 4	¥=v/==	
目標利用	用人員が前	丁年度	前年度の実績比約99.7%と微減	計画どおり事業を実施見		/ 久文 示	■ #	並充 □ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■] 縮減	業評価 □ 終期の見直 □ 完了 □ その他	し見直し額
								-496 11 1			

えちぜん鉄道高架化支援事業

区分	継続	経費	区分	政策	的経費	シー!	リング	外	部)	局名	総合政策部		課名	交通る	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
—————— 福井ふるさと	上元気官言	■ 政推枠	ビジョ	ン〔	[元気 <i>た</i>	は県土)		国庫		実行予算	事業	H16	年度			
における位			政	策〔	〔美しい県	土、楽しく	〈便利なま	ちの形成	事	業 分	県 単		補助金	開始	┃ ┃経過年数		事業終了 予定年度	30	年度
関連する県	の計画等	[]	" -	その他		その他	年度	13	年	了た十皮		
[事業目的] 福井市の [事業内容] ○補助内	中心市街													解消、東) 衡ある発展	を図る。	
[予算額の推					2.4 年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	3.0年度				主か性	学 減 理	1	(単位:	千円)
	区	分額の推	移		2 4 年度			1 1 1	2 8 年度 244 850	29年度	30年度				主な堆	曽減理由	1	(単位:	千円)
当	区 初 予 算	額の推			644	51, 140	232, 400	113, 525	2 8 年度 244, 850			年次1	計画による	事業費の	-	曽減理由	1	(単位:	: 千円)
当	区 á 初 予 算 i 現 計 予	額の推算額の			644 2, 216	51, 140 18, 195	232, 400 176, 122	113, 525 70, 898				年次訂	計画による	事業費の	-	曽減理由	1	(単位 :	: 千円)
当 2 月	区 á 初 予 算 引 現 計 予 決 算 額	額の推算額の			644	51, 140 18, 195	232, 400 176, 122	113, 525 70, 898				年次訂	計画による	事業費の	-	曽減理由	1	(単位 :	: 千円)
当	区 á 初 予 算 引 現 計 予 決 算 額	額の推算額の			644 2, 216 2, 216	51, 140 18, 195 18, 194	232, 400 176, 122	113, 525 70, 898	244, 850		71, 000	年次訂	計画による		増加		積算根拠	(単位 :	: 千円)
2 月[成果指標等	区 前初予算 引現計予 決算額 の推移]	額の推算額のの推移の推移	推移	(目標)	644 2, 216 2, 216	51, 140 18, 195 18, 194 2 5 年度	232, 400 176, 122 139, 403 2 6 年度	113, 525 70, 898 2 7 年度	244, 850	182, 000	71, 000	えちも	計画による ぜん鉄道の : 年間利用	目標年間利用	増加 ・指標の孝 人員(単(きえ方・	積算根拠	(単位 :	: 千円)
2 月[成果指標等	区 初 予 算 現 計 予 決 算 額 の推移] 区	額の推算額のの推移の推移	推移 (644 2, 216 2, 216 2 4 年度	51, 140 18, 195 18, 194 2 5 年度	232, 400 176, 122 139, 403 2 6 年度	113, 525 70, 898 2 7 年度	244, 850	182, 000	71, 000	えちも	ぜん鉄道の	目標年間利用	増加 ・指標の孝 人員(単(きえ方・	積算根拠	(単位:	: 千円)
2 月 [成果指標等	区 á 初 予 算 引 現 計 予 決 算 額 の推移] 区 えちぜん鉛	額の推算額のの推移の推移分	推移 (<u>実績</u> (目標)	644 2, 216 2, 216 2 4 年度	51, 140 18, 195 18, 194 2 5 年度	232, 400 176, 122 139, 403 2 6 年度	113, 525 70, 898 2 7 年度	244, 850	182, 000	71, 000	えちも	ぜん鉄道の	目標年間利用	増加 ・指標の孝 人員(単(きえ方・	積算根拠	(単位:	: 千円)
2 月 [成果指標等 成果指標 活動指標	区	額の推算額のの推移の推移分	推移 (<u>実績</u> (目標)	644 2, 216 2, 216 2 4 年度 3, 257	51, 140 18, 195 18, 194 2 5 年度 3, 297	232, 400 176, 122 139, 403 2 6 年度	113, 525 70, 898 2 7 年度	244, 850	29年度	71, 000	えちも	ぜん鉄道の	目標 年間利用 者数3,330	増加 ・指標の孝 人員(単(考え方・ 立:千 <i>J</i> 33年度)	積算根拠	(単位:	千円)
2 月 [成果指標等 成果指標 活動指標 [財源内訳・	区	額の推算額のの推移の推移分	推移 (<u>実績</u> 〔目標〕 実績	644 2, 216 2, 216 2 4 年度 3, 257	51, 140 18, 195 18, 194 2 5 年度 3, 297	232, 400 176, 122 139, 403 2 6 年度 3, 289	113, 525 70, 898 2 7年度	244,850	29年度	3 0 年度	えち代目標	ぜん鉄道の : 年間利用	目標 年間利用 者数3,330	増加 ・指標の ^ま 人員(単位 0千人(H3	考え方・ 立:千 <i>J</i> 33年度)	積算根拠	(単位:	: 千円)

事 業 名	えちぜん鉄道高架化支援事業		部局名	総合政策部	調	名 3	交通ま	ちづくり	課	課長名	猪嶋 宏	 記
・踏切がなくなり ・鉄道と交差する	の背景] 高架化することにより、踏切を除去し、東 り、交通渋滞や事故が解消 ら道路が新しく、広く整備される 内な土地利用が可能となる ほか	夏西交通の円滑化を図り	り、地域の氵	舌性化につなけ	fる。	•				•		
[受益者]			[想定される	5受益者数]								
県民、市民など			_									
他県の状況	_		前事業の	有無・実績	■ 無	事業名		12 / AH-Y	A-10 / \	01/04		
関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 福井駅付近連続立体が (役割分担) 都市計画事業者(都市計画課)が福井駅付近の ぜん鉄道の高架化)を実施。		市町との			鉄冶線甲 明 して事業を			真担分(の 1 / 3 をす	え抜し くわり	•
[事業の評価]	V											
えちぜん鉄道の仮線電	前年度の実績 劉行に必要な業務を行なえたことから順調にエ	実績を踏まえる福井国体までの高架化完成			T			争	業評価			
事は進んでいる。		事を進める。	~ C 1 10 O C	Ji C ヤタル C むタか	•	拡充 継続		縮減 休止		発期の見直し 完了	見直し額	
						整理統合		廃止		その他		

嶺南地域鉄道事業化推進事業

区分	継続	経費四	区分 政	策的経費	シー	リング	内	部	局名	総合政策部	課名	交通	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさと	- /U/N/ -	政推枠	ビジョン	[元気が	は県土)	- Alle	国庫	■ 実行予算	事業	Н9	年度	alle 6.5		
における位	位置付け		政 策	〔 美しい県	具土、楽しぐ	く便利なま	ちの形成	〕 事区	業員	県 単	口補助金	開始	経過年数	Ţ	事業終了 予定年度	_	年度
関連する県の	の計画等 〔	[)		その他	■ その他	年度	20	年	7.0		
	鉄道事業化植	食討協 請	議会におい	て、嶺南均	地域鉄道	整備のたる	かの諸課題	題について	〔検討を行	い、事業	の推進を図る	0					
	会、幹事会 本、滋賀県等				或行政組 6	合、 県)の	の開催、釘	鉄道利用仮	産進策や割	琶湖若狭	弯快速鉄道建	設の事業	化に向い	けた検	討		
I																	
[予算額の推	移等]															 (単位	: 千円)
[予算額の推	移等]	分		2 4 年度	25年度	26年度	2 7 年度	28年度	29年度	30年度			主な均	曽減理由	1	(単位	: 千円)
			多	2 4 年度	1 1 1		27年度						主な均	曽減理由	1	(単位	: 千円)
当	区	の推和			1, 058	952		396					主な均	曽減理由	3	(単位	: 千円)
当	区 初 予 算 額	の推和額の打		1, 524	1, 058 1, 058	952 952	856 856	396					主な均	曽減理由	3	(単位	: 千円)
当	区 á 初 予 算 額 引 現 計 予 算 決 算 額 の	の推和額の打		1, 524 1, 524	1, 058 1, 058	952 952	856 856	396					主な均	曽減理由	3	(単位	: 千円)
当 2 月	区 á 初 予 算 額 引 現 計 予 算 決 算 額 の	の推和額の打		1, 524 1, 524 994	1, 058 1, 058	952 952 886	856 856	396		396		目標			積算根拠	(単位	: 千円)
当 2 月	区 á 初 予 算 額 引 現 計 予 算 決 算 額 の fo推移]	の推利額の技権移	推移 (目標	1,524 1,524 994 2 4 年度	1, 058 1, 058 813	952 952 886	856 856	396	390	396	琵琶湖若狭湾恤		- 指標のネ			(単位	: 千円)
2月 [成果指標等 成果指標	区 á 初 予 算 額 引 現 計 予 算 決 算 額 の fo推移]	の推移額の排移分	性 移 (目標 実績 等 (目標	1,524 1,524 994 2 4 年度) (12)	1, 058 1, 058 813 2 5 年度	952 952 886	856 856	396	390	396			- 指標のネ			(単位	: 千円)
当 2 月 [成果指標等 成果指標 活動指標	区 初 予 算 額 現 計 予 算 決 算 額 の での推移] 区 検討協議会 開催回数	の推移額の排移分	推 移 (目標 実績	1,524 1,524 994 2 4 年度) (12)	1, 058 1, 058 813 2 5 年度 (6)	952 952 886 2 6 年度	856 856 2 7 年度	28年度	390	396			- 指標のネ			(単位	: 千円)
当 2 月 [成果指標等 成果指標 活動指標	区	の推利額の打推移分	推 移 (目標 実績 等 (目標 実績	1,524 1,524 994 2 4 年度) (12)	1, 058 1, 058 813 2 5 年度 (6) 3	952 952 886 2 6 年度	856 856 27年度 (6)	28年度	29年度	396		央速鉄道の	・指標の教建設	考え方・			: 千円)
当 2月 [成果指標等 成果指標 活動指標 [財源内訳・	区 初 予 算 額 現 計 予 算 決 算 額 の の推移] 区 検討協議会 開催回数 事業主体等]	の推利額の打推移分	推 移 (目標 実績 等 (目標 実績	1,524 994 2 4 年度) (12)	1, 058 1, 058 813 2 5 年度 (6) 3	952 952 886 2 6 年度 (6) 4	856 856 27年度 (6)	28年度 (6)	29年度	3 0 年度	琵琶湖若狭湾(事業主 事業実施	央速鉄道の (体 に方法	・指標の教建設	きえ方・	積算根拠 道事業化検言		: 千円)

事	業	名	裿	資南地域鉄道事業化推進事業		部局名	総合政策部	詞	名	交通まり	ちづくり訳	果	課長名	猪嶋 宏記
[事業の	必要性	・要求	のす	背景]				-				-		
これる	まで、	JR4	\海	fの利便性向上および関西・中京圏との €線の電化、敦賀までの直流化を実現し は鉄道事業化検討協議会において嶺南テ	したが、引き続き、利用	月促進策と:	ダイヤ改善なと	どの利便	性向上に	取り組	むほか	、琵琶		
[受益者]					[想定される	る受益者数]							
嶺南地域	或住民	など				139,659人	(H27.9.1現在	推計	人口)					
他リ	県の状況	兄		_		前事業 <i>の</i>		■ 無□ 有(実績)	事業名	Ž				
役	「業の有 注割分担		ŀ	□ 無 ■ 有 事業名 嶺南地域鉄道整備対策 (役割分担) 琵琶湖若狭湾快速鉄道建設に向け、地域振		市町との	の連携状況		域鉄道事業を行ってい		協議会に	、嶺南	の副市町長が	が委員として参
[事業の	評価]			** F # 0 P/#	ロジャナルナミ	+ 0.0 F # #	· 本事 b				*	₩== /=		
岩南市	肝レレ:	‡. (二 拉	議る	前年度の実績 会等を4回開催するとともに、滋賀県とも	実績を踏まえ 嶺南地域の高速交通ネッ			* 主			争	業評価		
協議を行		U I ← Imm	D 技 Z		えつつ、引き続き、市町やするとともに、滋賀県の理	関係機関と	の課題の検討を総		拡充		縮減	□糸	冬期の見直し	見直し額
								•	継続		休止		完了	
									整理統合		廃止		その他	

嶺南地域鉄道整備対策事業

区分	継続	ş	経費区分	i (政策的経費	シー	リング	外	部。	局名	総合政策部	3	課名	交通	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさる	と元気宣言	■政	推枠 ヒ	ヹジョン	· [元気	な県土)		国庫		実行予算	事業	H10	年度			
における信	位置付け		赵	女 策	〔 美しい県	県土、楽し	く便利なま	ちの形成] 事区	業員	県 単		補助金	開始	経過年数		事業終了 予定年度	_	年度
関連する県	見の計画等	ſ)	~ _□	その他		その他	年度	19	年	7.2.1.2		
[事業目的]	-									-		-	-		-		•	_	
嶺南琶湖	胡若狭湾快运	速鉄道	重の早期	胡実現	を図る。														
[事業内容]																			
		洪道疆	建設の変	建設に	向けた事業	豊確保の カ	トか tht	ず振興其余	€に積立て	を行う。									
	までの直流化					灵胜 体 077		火水火	Z1C1良立 C	G 11 7 °									
[予算額の推	推移等]																	(単位:	
[予算額の推	推移等] 区		分		2 4 年度	25年度	26年度	27年度	28年度	2 9 年度	30年度				主な埠		H	(単位:	千円)
					2 4 年度 300, 000										主な増	曾減理 由	h	(単位:	千円)
= 7	区	額の	推移	移		300, 000	300, 000	300, 000	300, 000						主な増	曽減理 由	B	(単位:	千円)
= 7	当初予算	額の算額	推移の推	移	300, 000	300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300, 000						主な増	曽減理 由	ė .	(単位:	千円)
= 7	区 当 初 予 算 月 現 計 予 決 算 額	額の算額	推移の推	移	300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300, 000						主な増	搶減理 由	B .	(単位:	千円)
월 2 F	区 当 初 予 算 月 現 計 予 決 算 額	額 の 算 額 の 推	推移の推	移	300, 000 300, 000 300, 000	300, 000 300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300,000	300, 00	300,000			目標	主な増・指標の考			(単位:	千円)
2 月 [成果指標等	区 当初予算 用現計予 決算額 等の推移]	額 の 算 額 の 推	推 移 の 推 移		300,000 300,000 300,000 2 4 年度	300, 000 300, 000 300, 000	300, 000 300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300,000	300, 00	300,000		E thu str Xtr xtr kfr		・指標の表			(単位:	千円)
월 2 F	区 当初予算 用現計予 決算額 等の推移]	額 の 算 額 の 推	推 移 の 推 移	移	300,000 300,000 300,000 2 4 年度 標)	300, 000 300, 000 300, 000	300, 000 300, 000 300, 000	300, 000 300, 000	300,000	300, 00	300,000		湖若狭湾快		・指標の表			(単位:	千円)
2 月 [成果指標等 成果指標	区 当初予算 月現計予 決算額 等の推移] 区	額の算額の推	推移の推移	(目	300, 000 300, 000 300, 000 2 4 年度 標) 績	300, 000 300, 000 300, 000	300, 000 300, 000 300, 000	300, 000 300, 000 2 7 年度	300,000	300, 00	300,000		湖若狭湾快		・指標の表			(単位:	千円)
2 月 [成果指標等	区 当初予算 用現計予 決算額 等の推移]	額の算額の推	推移の推移	(目	300,000 300,000 300,000 24年度 標) 績	300, 000 300, 000 300, 000 2 5 年度	300, 000 300, 000 300, 000	300,000 300,000 27年度 (7,300,000)	28年度	300, 00	300,000		湖若狭湾快		・指標の表			(単位:	千円)
2 月 (成果指標等) 成果指標 活動指標	区 当初予算 月現計予 決算額 等の推移] 区	額の算額の推立累計	推移の推移	(目 実 (目	300,000 300,000 300,000 24年度 標) 績	300, 000 300, 000 300, 000 2 5 年度	300, 000 300, 000 300, 000 2 6 年度	300,000 300,000 27年度 (7,300,000)	28年度	300, 00	300,000		湖若狭湾快		・指標の表			(単位:	千円)
2 月 (成果指標等) 成果指標 活動指標	区 当初予算 月現計予 決算額 等の推移] 区	額の類の推立累計	推移の推移	(目 実 (目 実	300,000 300,000 300,000 24年度 標) 績	300, 000 300, 000 300, 000 2 5 年度 6, 700, 000	300, 000 300, 000 300, 000 2 6 年度	300,000 300,000 27年度 (7,300,000)	28年度	2 9 年度	300,000		湖若狭湾快	速鉄道の	・指標の表			(単位:	千円)
2 月 [成果指標等 成果指標 活動指標 [財源内訳・	区 当初予算 用現計予 決算額 等の推移] 区 県の基金積・事業主体等	額の類を変える。	推移の推移	(目 実 (目 実	300,000 300,000 300,000 2 4 年度 標) 績 標) 績 6,400,000	300, 000 300, 000 300, 000 2 5 年度 6, 700, 000	300, 000 300, 000 300, 000 2 6 年度 7, 000, 000	300,000 300,000 27年度 (7,300,000)	300,000 28年度 (7,600,000)	2 9 年度	3 0 年度	琵琶		速鉄道の	・指標の考建設			(単位:	千円)

事 業 名	嶺南地域鉄道整備対策事業		部局名	総合政策部	誹	!名 3	交通まちつ	じくり課	課長名	猪嶋 宏記
)背景] については、これまで、小浜線電化(³ 、地域の期待に応え、県と嶺南市町が-							したが、	残された琵	琶湖若狭湾快
[受益者]			[想定され	る受益者数]						
嶺南地域住民など			139,659人	(H27. 9. 1現在	推計)				
他県の状況 関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 嶺南地域鉄道事業化 (役割分担) 嶺南各市町とともに、小浜線と新快速の利 鉄道実現に向けて諸課題の検討等を行う。			[■ 無 コ 有 (実績)	事業名		平成9年)	度から積立を行	っている。
 [事業の評価]										
	前年度の実績	実績を踏まえ	た28年度の	変更点				事業詞	平価	
嶺南各市町も積立を継 てを実施。	続しており、県としても地域振興基金に積立	嶺南各市町も引き続き基金から、県としても積立を継		を示していること		拡充	□ 縮	引減 [□終期の見直し	見直し額
					•	継続	口 休	<u>т</u> [〕 完了	
						整理統合	│ │	<u>E</u>	コ その他	

生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総	合政策部	3	課名	交通	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさとにおける位		■ 政推枠 ビジ		元気な県土	〕 たの形成 〕	事 業		国庫		実行予算補助金	事業開始	H13 経過年数	年度	事業終了	_	年度
関連する県		[ж (Х ССТ	工、来し、民刊なる]	区分		ポーキ		その他	年度	16	年	予定年度		十尺

[事業目的]

地域住民の生活に必要不可欠な生活バス路線の運行を維持し、地域住民の福祉向上を図る。

[事業内容]

- 〇生活バス路線維持のための補助
 - 1 地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助(国庫)
 - 2 広域生活バス路線維持対策事業補助(県単:複数市町運行系統)
 - 3 市町生活交通維持支援事業補助(県単:同一市町内運行系統)

[予算額の推移等]

区分	}	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	3 0 年度	主な増減理由
当初予算額の抽	推 移	402, 980	422, 387	445, 724	461, 069	461, 946	461, 946	461, 946	
2 月 現 計 予 算 額 0	り推 移	400, 962	420, 711	445, 724	459, 482				車両更新台数の増加
決算額の推利	多	390, 560	417, 328	440, 178					

[成果指標等の推移]

	区	分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	2 7 年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	バス利用者数	(目標) 実績	6, 284	6, 197	6, 141	(6, 104)	(6, 073)	(6, 030)	(5, 993)	乗合バス(路線バス・コミバス等を含む)の年間利用人員数 (単位:千人)
活動指標	補助対象バス実口	車走行キ (目標) 実績	8, 875	9, 058	9, 039	(9, 039)				乗合バス(路線バス・コミバス等を含む)の年間実車走行キロ (単位:千km)

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	交通事業者、各市町
予算額	461, 946				461, 946	事業実施方法	補助
	401, 940				401, 940	補助率	国・県各1/2、県・市町各1/2

部局名

総合政策部

課名

交通まちづくり課

課長名

猪嶋 宏記

名 生活バス路線確保対策事業

業

[事業の必要性・要求の)背景]								
咸少傾向にある。そ	たりのクルマ所有台数が全国トップクラのため、生活バス路線の大半が赤字路に 地域住民の足として重要であり、特に	線であり、行政の支援が	バなければ路線の廃止が過	進行する	0 0				
る。	200 CES CONTRACT		四人工 7 起 1 () 是 4 7	CH1 C 14	J C V 'G'		- 47 AE		X 1 17 C 65
	過度なクルマ利用意識を見直し、公共3	交通機関や自転車の利用	月を呼びかけるカー・セ-	-ブ運動]を今後進	めてい	く上で	も、バス路線の	維持が欠かせ
ない。									
			[想定される受益者数]						
バス利用者(通学者	、通勤者、高齢者等)		6, 104千人						
	(富山県)	1446 - Lou-1117 - Arte Lit 1811		口無					
	①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価 ②生活路線運行費補助金(同一市町村内の路			■有	事業名	バ	ス事業活	5性化対策推進事業	; :
	外、国庫補助と同じ規定)			(実績)					
他県の状況	③市町村運行バス路線対策費補助金(コミバ ④NPO過疎地バス路線支援事業費補助金	人)	 前事業の有無・実績	ノンス				止路線代替バスの流	
								の減少等により事! コミュニティバス(
	│	償却費等補助		きたこと	から、広域	路線の選	重行費に	ついては事業者に、	
	②県単運行費補助、車両購入費補助			線の運行	費について	は市町に	こ補助を	行っている。	
	□ 無			各市町	は、コミバ	スの運行	テおよび	市町内の路線バスク	への補助を行い
		いなみべて日本本事業		地域の生	活交通の確	保に努め		、県は市町のこれ	
	┃■ 有 事業名 クルマに頼り過ぎな	い仕去してり推進争未		し補助を	行っている。				
関連事業の有無・	│ (役割分担) │ │ │ 公共交通機関の利用を促進するため、過度	たカルマ体をの切割に向け							
ᄱᆏᆔᄼ	た普及啓発を実施		1月1日との足跡がた						
	│ また、市町等が行う公共交通機関・自転車 │施設整備等への支援を実施	の利活用拡大を図るための							
	心故笠偏寺への文族を天心								
[事業の評価]									
	前年度の実績		た28年度の変更点				事	業評価	
	ルート見直し等の利便性向上を図ったが、 /響により、バス利用者数は減少した。		オを図り、福井駅西口乗入、ノ 剋直し、フリー乗降区間の設置		拡充		縮減	□ 終期の見直し	見直し額
ベロ <i>1</i> 000 (により、利用しやすいバス	くの運行を実施し、成果指標 <i>の</i>)/A / C		小旧 //火	日本初の光色の	光色し設
		成を目指す。 			≪业 ≪±		/ + .L		
				•	継続		休止	□ 完了	
					±6 ∓07 64 ↑				
					整理統合		廃止	□ その他	

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	i	総合政策部	ß	課名	交通	まちづくり	力課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさと		■ 政推枠 ビジ	ョン 〔	元気な県土)	古光		国庫		実行予算	事業	H19	年度	古光のフ		
における位	江道付け	政	策 〔 美しい県	土、楽しく便利なま	ちの形成 〕	事業区分	•	県 単		補助金		経過年数	ζ	事業終了 予定年度	_	年度
関連する県の	の計画等	()			その他		その他	年度	10	年			

[事業目的]

過度なクルマ利用を見直し、公共交通機関や自転車等への転換を促すカー・セーブ運動を「クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議」が中心となり、社会全体で取り組む県民運動として推進する

また、持続可能な公共交通網の整備や自転車の利用環境整備、企業団体が行うカー・セーブに関連する運動を支援する。

[事業内容]

- ○クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議の負担金
 - ・県民会議を中心として県内各地の関連イベントでの啓発活動等による県民へのカー・セーブ運動の周知・PRの実施
- 〇ばす・でんしゃナビふくいの運用等
- ○持続可能な公共交通網の整備や自転車の利用環境整備等への支援
 - ・支援対象事業 乗継拠点となりうるバス停・駅の施設整備(バス停上屋、案内表示)

乗継拠点駅でのパーク&ライド・パーク&サイクルライド実施にかかる施設整備

コミュニティサイクルの導入

「自転車の駅」の整備 など

[予算額の推移等]

区 分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移	20, 356	17, 916	18, 190	14, 337	14, 093	14, 093	14, 093	
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	12, 622	11, 424	10, 530	14, 337				
決算額の推移	10, 552	10, 557	9, 068					

[成果指標等の推移]

	区	分		2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	県内公共交通 数	機関利用者	(目標) 実績	11, 319	11, 396	11, 360	(11, 360)	(11, 353)	(11, 336)	(11, 315)	鉄道は連携計画記載の目標利用人数により、バスはや人口減少率をも とに算出。
活動指標	カー・セーブ	参加企業	(目標)	(210) 213	(230)	(250) 251	(260)	(270)			引き続き、新規参加企業・団体を募集するとともに、既存の企業・団体へのフォローアップを促進する。(優良企業・団体表彰)

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、県民会議、各市町、交通事業者など
予算額	14, 093				14, 093	事業実施方法	負担金、実行予算、補助
17 异俄	14, 093				14, 033	補助率	県1/2、10/10

部局名

総合政策部

課名

交通まちづくり課

課長名

猪嶋 宏記

業

名 クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

[事業の必要性・要求の	背景]								
	や運転免許を保有する高齢者の増加を行								
	りのクルマ所有台数が全国トップクラス			は高い	ため、県民の	の過度	なクル	マ利用意識を見	直し、公共交
	や環境にやさしい公共交通機関や自転車			ᆥᇈᇻᇷ	ᇰᆇᆂᆋᄼᄼ	+ 六 洛·		白起声の利廷田	₩±±₩₹₩
	通事業者・企業・団体等で構成する県」 支援を実施し、人口減や高齢化などに								
0,00,1000 成正 in 守 10,1		かかり るい 2020年11年1、		、 1寸が	, 「J HE'み A 大 J	L.III C.	正にし		安 てめる。
[受益者]			[想定される受益者数]						
県民(公共交通機関	、自転車、自動車利用者)など		_						
	(富山県)			口無					
	①「富山県公共交通利用促進協議会」を設置 実施し、チラシ作成・配布や広報活動を実			 ■ 有	事業名).	ーマイカ	コー交通促進支援事	業
	村、交通事業者、経済界および利用者)			 (実績	i)				
	②「乗りたくなる公共交通推進事業補助金」 目的とした、実際に公共交通を利用した企					tH11年	F度から	毎月1日、16日に実	施していたが、
他県の状況	て支援)		前事業の有無・実績					や自転車利用、相乗	
	(石川県) ①「生活バス利用促進対策費補助金」(バス	重業者も市町 位議会等			ルマの利用をf ・4金曜日、H2			セーブデー」に拡え 週金曜日)	人。(H 20年度)
	が取り組む先駆的・効果的な利用促進策に				alle				
								月補正で補助スキ- H25 7件・2,829-	
				"""				H23 7件 • 6, 930=	
								おいて、街頭キャン	
	■ 有 事業名 生活バス路線確保対	策維持事業		シ・啓 る。	発グッズの配布	节、広 幹	最誌や C	ATVでの広報活動	動を実施してい
	(役割分担)	NOTE TO THE		また				しゃナビふくい」(
関連事業の有無・	生活バス路線維持のための補助を実施		 市町との連携状況					登録しており、ダイ 正確な情報を提供し	
役割分担	±11 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		川川との建携仏派	O7 示 C	は、近極に同り	エックに	,	上海な 旧形で 近穴 (C C C C C C C C C C C C C C C C C C C
								住民の意見を聞きな すく、持続可能なな	
					める際に県がる				公共文通柄の登
[事業の評価]									
	前年度の実績		た28年度の変更点				事	業評価	
各企業・団体に「カー 業・団体の募集を行い、	・セーブ運動」の趣旨等を説明し、参加企		団体にとってインセンティ 【内のカー・セーブ運動の機		□ 拡充		縮減	□ 終期の見直し	見直し額
県内各地で「カー・セ	アーブ運動」の普及啓発活動や広報活動等を	高める。			□ 拡充		小旧 //仪	ロ 終期の先担し	九世 し蝕
	少子化等の影響により、公共交通機関利用		経活動を実施する際に、参加:						
者数は減少した。		より公共父趙筬関に親し€ 上記により、成果指標の	♪体験コーナーを実施する。 D達成を目指す。	'	■継続		休止	□ 完了	
	実績を踏まえて、27年度に補助スキーム								
	き者が実施するバス停上屋整備やパーク&ラ 、て支援を実施している。				コ 整理統合		廃止	□ その他	
		1							

節 自転車利用促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	i	総合政策部	ß	課名	交通	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさんにおける位		■ 政推枠 ビジ 政		元気な県土 土、楽しく便利なま:	〕 ちの形成 〕	事業区分		国庫県単		実行予算補助金	事業開始	H28 経過年数	年度	事業終了 予定年度	_	年度
関連する県	!の計画等	[)			その他		その他	年度	1	年			

[事業目的]

本県では、依然としてマイカー依存の高い状態が続いており、クルマに頼り過ぎない社会づくりの推進が必要である。そこで、平成30年度の福井しあわせ元 気国体・大会に向け、モデル事業として自転車先進国オランダの事例を参考に、国体会場周辺などの自転車走行環境の整備を行うとともに、自転車利用の機運醸 成を進め、クルマ利用から自転車利用への転換を図る。

[事業内容]

予算額

- (1) 自転車走行環境の整備
 - 〇東西の幹線(福井市さくら通りなど)、国体会場周辺の自転車走行環境を整備
 - (内容)
- ・歩道段差解消
- 路面表示設置

3, 123

- · 自転車走行帯整備
- (2) 自転車利用の機運醸成
 - 〇民間との協働による福井の自転車文化の発信
 - (内容) ・日本で初めて、福井藩士・佐々木長淳が自転車を組み立てし、藩主・松平春嶽が乗車した史実の紹介(自転車発祥の地)
 - ・往時の自転車の復元
 - ・自転車の専門家の知見を活かした福井県の自転車利用施策の展開

[予算額の排	推移等]											(単位:千円)
	区	分		2 4 年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度		主な増減理由
<u> </u>	当初予算額	の推移						3, 123				
2)	月現計予算	額の推	移									
	決算額の	推移										
[成果指標等	等の推移]				•	1						
	区	分		2 4 年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標	・指標の考え方・積算根拠
成果指標			(目標)									———— 換および快適に自転車走行ができる環境を整
八木141宗			実績								備するものであり、成果	指標の設定になじまない。
活動指標			(目標)									
/ 1 到 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			実績									
[財源内訳・	• 事業主体等]											
区分	事業費		国庫	Ē	起	債	そ(の他	一般	財源	事業主体	県
工		2 122								2 122	事業実施方法	実行予算

3.123

補助率

事 業 名	自転車利用促進事業		部局名	総合政策部		課名	交通ま	ちづくり記	課長名	猪嶋 宏記
[事業の必要性・要求の)背景]									
	依然としてマイカー依存の高い状態が				りの推	推進が必要	更である	。そこて	で、平成30年月	度の福井しあ
わせ元気国体・大会	に向け、走行環境の整備や機運醸成に	より、自転車の利用を	・促進する!	必要がある。						
[受益者]			[想定される	 る受益者数]						
県内外の自転車利	用者など		_							
					■無	<u> </u>				
	○愛媛県				□有	事	業名			
	・「サイクリストの聖地」 ・全長約60kmにおよぶサイクリングコース	ζ			(実績	į)				
他県の状況	(しまなみ海道・今治〜尾道) ・橋梁の人工美と橋から眼下を望む潮流と海	- 浮かご多皀羊を楽しめる	前事業の	有無・実績						
	・国内はもちろん、海外に向けても「サイク」									
	道」をPRし、観光客増加に寄与 ・サイクリングしまなみ開催(国内最大規模の	D国際サイクリング大会)								
		ты,								
	□ 無								推進事業補助制度	
	■ 有 事業名				イクル	の導入や	「自転車σ		企業・団体などがご 備など自転車の利力	
	(役割分担)				う場合	に支援を実	€施。			
	道路保全課:自転車走行環境の整備、自転車選 県民安全課:自転車の安全な利用の促進	道ネットワークの拡大など	市町と						に自転車空気入れ	
X41/7.1_	宗氏女主妹: 自転車の女主な利用の促進 (自転車安全講習会の開催など	<u>=</u>)							、自転車利用者に· 。また、「自転車の	
					水(水	道水)の扱	是供やトイ	レ使用の	サービスも行う。	
[事業の評価]										
	前年度の実績	実績を踏まえ	た28年度の)変更点				事	業評価	
						□ 拡充	₹ □	縮減	□ 終期の見直し	見直し額
								71200		752 0 12
						□ 継続	ŧ 🗆	休止	口 完了	
						□ 整理紛	· · ·	廃止	□ その他	

小松空港国際線利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	i	総合政策部	3	課名	交通	まちづくり	り課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさとにおける位		■ 政推枠 ビジ		元気な県土)	事 業		国庫		実行予算	事業	H18	年度	事業終了		
Le (10 a l	1月17月17 1月17日	政	策 〔 美しい県	土、楽しく便利なま	ちの形成]	区分	•	県 単		補助金	開始 年度	経過年数	ζ	予定年度	_	年度
関連する県	の計画等	[)			その他		その他	十戌	11	年			

[事業目的]

福井・石川両県の行政や経済界等からなる小松空港国際線利用促進同盟会を通じ、上海便など小松空港国際線の利用促進を行う。

[事業内容]

〇小松空港国際線利用促進同盟会負担金

(主な活動内容)

- 新聞やラジオなどによる広報活動
- ・両県でのショッピングセンターや主要駅におけるキャンペーン
- ・就航国との連携イベントにおける双方向でのPR
- 就航国の現地取材による旅行記事の雑誌掲載
- ・テレビでの旅行番組の放映によるPR
- ・チャーター便旅行商品に係る広報への支援

区 分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	2 7 年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移	2, 500	2, 500	2, 500	2, 500	2, 500	2, 500	2, 500	
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	2, 500	2, 500	2, 500	2, 500				
決算額の推移	2, 500	2, 500	2, 500					

[成果指標等の推移]

	区	分		2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	 小松空港国際線	10000000000000000000000000000000000000	(目標)	_	_	_					 小松空港国際線定期便の年間利用人員(単位:千人)
/// 11 ///	7 四工亿国际制	K11/11/V.R	実績	144	158	176					7 周工尼目的"脉龙"从及27 门间刊"加入关(平位: 177/
活動指標	 │PR活動の実施	n	(目標)								
7日301日 示		•	実績	2	2	2					

[財源内訳·事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	小松空港国際線利用促進同盟会
予算額	2, 500				2, 500	事業実施方法	負担金
了异似	2, 300				2, 300	補助率	_

[事業の必要性・要求の背景]	
LTAYWOOL	
・小松空港国際線利用促進同盟会は、石川・福井両県知事の合意に基づき設立し、両県の行政や経済界等で構成されている。同盟会	·通じ国際線の利用促進をPR
し、小松空港の利活用推進に取り組んでいく必要がある。 	
[受益者] [想定される受益者数]	
小松空港国際線の利用者など 約15千人(小松空港国際線を利用する福井県民・拍	計)
石川県負担金 10,000千円 ■ 無	
□ 有 事業名	
(実績)	
他県の状況 前事業の有無・実績	
■ 有 事業名 小松空港利用促進事業	
(役割分担)	
関連事業の有無・ 小松・羽田便のリピート客を増やすため、利用促進のキャンペーンを実 市町との連携状況 役割分担 施	_
では、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	
[事業の評価]	
前年度の実績実績を踏まえた28年度の変更点	事業評価
24年12月にデイリー化した小松・台北便が好調なことから、小松・ 新たな定期路線就航に向け、チャーター便の運航を推進 上海便、台北便、ソウル便を合わせた平成26年度の国際線旅客数は する。 □ 拡充 □ 縮充	. □ 終期の見直し 見直し額
176,078人(前年度比111.3%) と前年度を上回っており、国際線の利	・ □ 終期の見直し 見直し額
用促進が図られている。	
	. 口 完了
	T 70/11
□ 整理統合 □ 廃 ₋	. □ その他

山里口御門整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	崭	総合政策部	3	課名	交通	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさにおける		■ 政推枠 ビジ		元気な県土		事業	•	国庫	•	実行予算	事業	H25	年度	事業終了		
			策 し 美しい県	土、楽しく便利なま	ちの形成 」	区分		県 単		補助金	開始 年度	経過年数		予定年度	_	年度
関連する県	県の計画等	Ĺ			J			その他		その他		4	年			

[事業目的]

「福井城址」を核とした県都の再生として、歴史を生かした福井城址と中央公園の一体的な再整備や、県民会館跡地周辺の先行的な利活用を進めるため、平成19 年度に復元した御廊下橋の動線上に位置する山里口御門を復元する。

[事業内容]

御門復元工事 197,763千円

・平成26年度に実施した実施設計を基に、山里口御門(櫓門、棟門、土塀)の復元工事を実施

石垣修復·周辺整備工事 95,892千円

・舗装整備、案内板設置、ライトアップ等の周辺整備、仮設ヤード撤去工事

機運醸成など 7,285千円

- 寄附金を募集し、復元に対する機運を醸成

[予算額の推移等]

(単位・千円)

								(辛匹:11]/
区 分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移		10, 127	191, 347	525, 861	300, 940			
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		10, 127	206, 675	333, 942				年次計画による事業費の減少
決算額の推移		9, 687	151, 642					

[成果指標等の推移]

		区	分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	2 7 年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
FI.			(目標) 実績								福井城址を中心として歴史を感じることのできる空間を整備するもの であり、成果指標の設定になじまない。
ä	舌動指標		(目標) 実績								山里口御門の完成

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県
予算額	300, 940	102, 775	108, 000	4, 899	85, 266	事業実施方法	実行予算
了异似	300, 940	102, 773	100, 000	4, 099	03, 200	補助率	_

事 業 評 価

	事 業 名	山里口御門整備事業		部局名	総合政策部	課	名 3	を通ま	ちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
の一環として、整備済みの御廊下橋との連続性を生かし、平成30年を目指して整備している福井市中央公園と一体となった、歴史を感じられる空間を創出する 平成25年度の基本設計、26年度の実施設計に基づき、平成27年度から工事を実施しており、工事の最終年度として予算要求するものである。 【受益者】 ・	[事業の必要性・要求の	背景]	-			<u>-</u>	- -			<u> </u>		<u>-</u>	
県民、福井市民など	の一環として、整備	済みの御廊下橋との連続性を生かし、 ³	平成30年を目指して整	を備している	る福井市中央公	園と一	体となった	た、歴	歴史を感	じられ	れる空間を		
県民、福井市民など													
石川県では金沢城を順次度元し、金沢城へ園整備を行っている。 平成 8年 → 17年 第1期工事 事業費235億円 (接稿、五十間長屋、橋川門統権) 平成 18年 → 26年 第2期工事 事業費64億円 (河北門・横門・いちり坂、玉泉院丸庭園等) 第3期計画若手(前多門、頭多門模等) 前事業の有無・実統 (実績) 「本職 事業名 (役割分担) 「市町との連携状況 「市町との連携状況 「市町との連携状況 「中間を定義を含まる。」 「本業評価 御門復元等の工事を推進 進捗率 61.6% (事業費ペース) 「本業費ペース」 「本業 「本業評価 「本業	[受益者]			[想定される	6受益者数]								
平成 8年→17年 第 1期工事 事業費 2 3 5億円 (後権 工作制及服 括照 1 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	県民、福井市民など			_									
□ 有 事業名 (役割分担) 「事業の評価] 「事業の評価] 前年度の実績 「申集の事権」 「申集の事権」 「申集の事権選進 「申集を踏まえた28年度の変更点 「申集を踏まるた28年度の変更点 「申集を踏まるた28年度の表現を踏まるた28年度の変更点 「申集を踏まるた28年度の表現を踏まるた28年度の変更点 「申集を踏まるた28年度の変更点 「申集を踏まるた28年度の変更なが表現を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を		平成 8年→17年 第1期工事 事業費2 (菱櫓、五十間長屋、 平成18年→26年 第2期工事 事業費6 (河北門、橋爪門、い	35億円 橋爪門続櫓) 4億円 もり堀、玉泉院丸庭園等)	前事業 <i>の</i>		〕有	事業名						
前年度の実績 実績を踏まえた28年度の変更点 事業評価 御門復元等の工事を推進 進捗率 61.6%(事業費ベース) □ 拡充 ■ 縮減 □ 終期の見直し 見直し		□ 有 事業名		市町との	D連携状況				_	-			
御門復元等の工事を推進 進捗率 6 1. 6 % (事業費ベース) □ 拡充 ■ 縮減 □ 終期の見直し 見直し □ 様様 □ 休止 □ 完了 △ 22	[事業の評価]		T										
進捗率 6 1. 6 % (事業費ベース) □ 拡充 ■ 縮減 □ 終期の見直し 見直し □ 機続 □ 休止 □ 完了 △ 22	<i>(m)</i>								事	業評価	ĺ	ı	
<u> </u>			29年春頃の元成を日指 	ⅰし、工事を∃	匪進		拡充	•	縮減		終期の見直し	,見正	直し額
							継続		休止		完了	Δ	. 224, 92 ⁻
□ 全理税合 □ 廃止 □ その他 □							整理統合		廃止		その他		-, - -

劒 まちなか歴史資源見える化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	1	総合政策部	3	課名	交通	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさと	元気宣言	■ 政推枠 ビジ	ョン 〔	元気な県土)			国庫		実行予算	事業	H28	年度			
における位	置付け	政	策 〔 美しい県	土、楽しく便利なま	ちの形成 〕	事業区分	•	県 単		補助金	開始	経過年数	Ţ	事業終了 予定年度	_	年度
関連する県の	の計画等	()	//		その他		その他	年度	1	年			
[事業目的]	<u>-</u>										-					

昭和11年(1936年)の二・二六事件から80年を機に、新幹線口となる福井駅東口広場内に、内閣総理大臣を務めた岡田啓介の銅像とその側近の松尾伝蔵の 胸像を設置し、全国に郷土の誇る先人を顕彰する。

[事業内容]

予算額

- ・岡田啓介像設置(福井市中央公園に建立されていたものを利用)
- ・松尾伝蔵胸像設置(福井市旭小学校内のものを移設)
- ・案内板設置(岡田啓介略歴・業績、松尾伝蔵略歴)
- ・銅像周辺の修景整備(植栽等)

[予算額の	推移等]											(単位:千円)
	区	' }	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度		主な増減理由	
	当初予算額の	推移					17, 998					
2	月現計予算額(の推移										
	決算額の推	移										
[成果指標	等の推移]											
	区	' }	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標	・指標の考え方・積算根拠	
成果指標	ī	(目標)										
八人 1日际		実績										
活動指標	岡田啓介像・松尾	伝蔵胸 (目標)										
7U 20 10 17	像の設置	実績										
[財源内訴	・事業主体等]	·										
区分	事業費	国	車	起	債	そ(の他	一般	財源	事業主体	県	
	17, 9	nno							17, 998	事業実施方法	実行予算	
▽ ⁄☆ ₼∓	17, 8	330							17, 990	++ n		

補助率

事 業 評 価

事 業 名	● まちなか歴史資源見える化事業		部局名	総合政策部	課名	交	通まちづくり	課 課長名	猪嶋 宏記
[事業の必要性・要求の	背景]				-	-		-	
	先人を顕彰するため、昭和11年(19	336年)の二・二六事	4件から8	O年を機に、新	新幹線口とな	る福井	‡駅東口広場	内に、内閣総理	大臣を務めた
岡田啓介の銅像とそ	の側近の松尾伝蔵の胸像を設置する。								
[受益者]			[想定される	る受益者数]					
県民、福井市民など									
					■無				
					□有	事業名			
					(実績)				
他県の状況	_		前事業の	有無・実績					
	無無								
	□ 有 事業名								
	(役割分担)								
関連事業の有無・ 役割分担			市町と	の連携状況					
[事業の評価]									
	前年度の実績	実績を踏まえ	た28年度の	変更点			事	業評価	
						太充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
			_						
						迷続	□ 休止	□ 完了	
_									
					□整理	里統合	□ 廃止	□ その他	

「福の井」再整備事業

区分	継続	経費区	分	政策的経費	シーリング	外	部局名	i	総合政策	策部		課名	交通る	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
	さと元気宣言 る位置付け	■ 政推枠	ビジョ		元気な県土)	事 業			車	•	実行予算	事業	H27	年度	事業終了	1100	
			以 :	策 し 美しい県	土、楽しく便利なま	ちの形成 」	区分		/K -	Ĭ		補助金	開始 年度	経過年数		予定年度	H28	年度
関連する	原の計画等	[)			その作	也		その他		2	年			

[事業目的]

福井城「福の井」について、平成18年度の「福の井」整備工事に引き続き、水にさらに親しめるようにするための環境整備を行い、福井の歴史を発信する。 平成27年度の調査・設計に基づき、「福の井」を推定復元し、井戸上屋等を再整備する。

[事業内容]

- 〇「福の井」の井戸枠、井戸内部の石積み、井戸周囲の石敷きの復元
- ○「福の井」に井戸上屋等の設置

〇スケジュール 平成28年 4月~ 7月 「福の井」周辺測量・設計 8月~ 11月 井戸内部石積み、井戸枠再整備 12月~平成29年3月 井戸上屋等整備工事、石敷工事

[予算額の推移等] (単位:千円)

区分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移				2, 039	87, 557			
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移				2, 039				年次計画による事業費の増加
決算額の推移								

[成果指標等の推移]

	区	分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標		(目標) 実績								福井城址を中心として歴史を感じることのできる空間を整備するもの であり、成果指標の設定になじまない。
活動指標		(目標)								「福の井」の完成

[財源内訳·事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県
予算額	87, 557				87, 557	事業実施方法	実行予算
了异似	07, 337				67, 337	補助率	_

事 業 名	「福の井」再整備事業		部局名	総合政策部	課	名 交	を通ます かんきょう	5づくり記	果	課長名	猪嶋 宏記
[事業の必要性・要求の	背景]		-		-	- -			<u>-</u>	-	
福井城のシンボルと	たとも言われている「福の井」であるか して、福井の歴史を発信するスポットと の水を使ったイベント等の実施や、観光	:する。		犬である。その)井戸形	態を推定行	复元し	,、 井戸.	上屋を	を設置する	ことにより、
			 [想定される								
 県民、福井市民など			_								
	他城址においても、井戸上屋が付属する井戸に (例:今治城蒼吹の井戸、松江城二ノ丸井戸、 大阪城金明水井戸、福山城井戸、白石城	松山城井戸、	前事業の	1	■ 無 □ 有 (実績)	事業名					
関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)		市町との	D連携状況				_	-		
[事業の評価]											
	前年度の実績	実績を踏まえた		変更点				事	業評価		
他城の事例を参考に、 	井戸上屋の設計を実施	井戸上屋の建築工事を推	進			拡充		縮減		冬期の見直し	見直し額
					•	継続		休止		完了	
						整理統合		廃止		その他	

県都デザイン戦略推進支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名		総合政策部	3	課名	交通	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさと元		■ 政推枠 ビジ	ョン〔	元気な県土)	-1114		国庫		実行予算	事業	H25	年度			
における位置	置付け	政	策 〔 美しい県	土、楽しく便利なま	ちの形成 〕	事業区分	•	県 単		補助金	開始	経過年数	,	事業終了 予定年度	_	年度
関連する県の	計画等	[)			その他		その他	年度	4	年	7,21,2		

[事業目的]

県都デザイン戦略において、北陸新幹線金沢開業、福井国体開催に向け、短期に実施することとした事業を推進することにより、都市の魅力を高め、次の世代に受け継ぐ県都づくりを進める。

[事業内容]

- 〇県都デザイン戦略に位置付けた、短期目標年次(2018年)までに実施する福井市の事業に対して補助
- ○補助スキーム
 - 【対象事業】・県都デザイン戦略を機に、新たに実施する事業(平成25年度~29年度までの5か年のうち、単年もしくは連続する5か年以内の期間)
 - ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)を活用して行う事業(その他の国、県の補助対象事業を除く)

〇補助対象事業

- ·中央公園周辺再整備事業(H25~H29)
- ·市道県庁線整備事業(H26~H28)
- 城址周辺道路整備事業(H27~H29)

[予算額の推移等]	(単位:千円)
	(用位:土山)
 	\ _ 1\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
	\+\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\

区 分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	2 7 年度	28年度	29年度	3 0 年度	主な増減理由
当初予算額の推移		15, 812	33, 797	161, 714	133, 379	103, 125		
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		8, 924	17, 377	161, 714				年次計画による事業費の減少
決算額の推移		7, 501	16, 191					

[成果指標等の推移]

	区	分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標		(目標) 実績								福井城址を中心として歴史を感じることのできる空間整備に対して支援しているものであり、成果指標の設定になじまない。
活動指標		(目標)				中央公園 (1期) 完成	市道県庁線 完成	城址周辺 道路 完成		山里口御門の完成 (H28) や福井国体 (H30) にあわせて周辺施 設を整備する。

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井市
予算額	133, 379				133, 379	事業実施方法	補助
1 异俄	133, 379				100, 079	補助率	国4.5/10、県2.75/10以内

事 業 評 価

事 業 名	県都デザイン戦略推進支援事業		部局名	総合政策部	課名	3	を通まちづくり	課	課長名	猪嶋 宏記
[事業の必要性・要求 県都デザイン戦略 福井国体に向け整備	Bでは福井城址を中心とした、歴史を象	徴し、人が集まる空間 <i>0</i>	○形成を目	指している。そ	の実現に「	句け、	福井市に対し	て補助	助を行い、 ³	平成30年の
[受益者]			[想定され	る受益者数]						
県民、福井市民ほか	`									
他県の状況	_		前事業の)有無・実績	■ 無] 有 〔実績〕	事業名				
関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)		市町と		計市が事業 いる。	主体で <i>i</i>	あるが、県とし	·ても意	「見を述べなか 	がら事業を進め
[事業の評価]	 前年度の実績	実績を踏まえ	た 2 2 年 度 1)亦面占			車	業評価		
中央公園についてはる。	、平成27年度で第1期整備が完了予定であ	中央公園については、福 目指し、平成28年度から また、城址周辺の回遊性を	計国体まで 第2期整備 向上させる	の公園全体の完成を		拡充	■縮減		終期の見直し	見直し額
		から城址周辺道路整備に着	手する。			継続	口 休止		完了	△ 28, 335
					□整	理統合	□ 廃止		その他	20,000

福井駅広場恐竜王国ふくい推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	i	総合政策部		課名	交通る	まちづくり	課	課長名	猪嶋	宏記
福井ふるさとにおける位		■ 政推枠 ビジ 政		元気な産業 代にブランド・観光オンリ] リーワン戦略]	事業区分	□	国庫県単	■	実行予算補 助 金		H26 経過年数	年度	事業終了 予定年度	_	年度
関連する県	の計画等	()	_		その他		その他	年度	3	年	· ·		

[事業目的]

北陸新幹線の金沢開業にあわせ、整備中のJR福井駅西口駅前広場に福井のトップブランドである恐竜のモニュメント等を設置し、県都の玄関口において「恐竜王 国福井」をPRするとともに、恐竜モニュメントをライトアップすることなどにより、新たな観光スポットとして整備を行い、観光客の誘客を促進する。

「事業内容]

- ・恐竜モニュメント維持管理
- ・恐竜トリックアート維持管理
- ・恐竜モニュメントおよび恐竜壁画ライトアップ電気料

【平成27年度事業】

- (1) 恐竜モニュメントの設置(本県で発掘されたフクイラプトル、フクイサウルス、フクイティタンの実物大の動く恐竜モニュメントの設置およびライトアップ)
- (2) 恐竜CG等の提供(スマートフォン等を利用した、恐竜解説・3DCG動画を楽しめるアプリや、まちなかを巡るスタンプラリー形式のアプリを提供)
- (3) 駅舎恐竜壁画の設置(駅舎西口への恐竜壁画の設置およびライトアップ)
- (4) 恐竜トリックアートの設置(駅舎西口壁面への恐竜が飛び出してくるように見えるトリックアートパネル(2枚)の設置)
- (5) ジュラチックベンチ等の設置(ジュラチックキャラクター「ラプト」のベンチおよび「サウタン」「ティッチー」のモニュメントの設置)

[予算額の推移等]	($ ilde{f \mu}$	位:千円)

区分	2 4 年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移			89, 576	32, 247	2, 651			
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移			119, 395	31, 162				維持管理経費の要求のため、事業費の減少
決算額の推移			119, 392					

[成果指標等の推移]

	区	分		2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	JR福井駅にお 王国福井」の	おける「恐竜 DPR	(目標) 実績								当事業は、JR福井駅に恐竜モニュメント等を設置し、観光客等に楽しんでもらうことで、県都の玄関口において「恐竜王国福井」をPRすることを目的としており、その成果は数値で計ることに適さないため。
活動指標	ホームページ「恐竜広場」		(目標)			(2, 500)	, ,	(30, 000)			平成27年3月に恐竜広場を整備しホームページを開設したため、平成26年度については、年間3万ビュー目標の月割りで算出(2,500ビュー)

[財源内訳·事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債その他		一般財源	事業主体	県		
予算額	2, 651				2, 651	事業実施方法	実行予算		
	2, 031					補助率	_		

事	業	名	福井駅広場恐竜王国ふくい推進事業		部局名	総合政策部	調		交通まち	っづくり課	1	課長名	猪嶋 宏記	
[事業の必要性・要求の背景] 当事業において整備した「恐竜広場」は、平成27年3月の開設以降、約4万人(※)が訪れている新たな観光スポットとなっており、観光客等への「恐竜王国福井」のPRに貢献している。この効果を一過性のものとせず、継続して効果を挙げるためには、当広場に設置した各コンテンツ(恐竜モニュメント等)を常に良好な状態に保ち、いつでも楽しんでもらえるよう、適切な維持管理が必要である。 ※恐竜PRブースの集計(平成27年3月~12月。計151日開設・来訪者54,751人)														
 [受益者]					「想定され	 ろ受益者数]								
県民、県		の組	米 安かど		[想定される受益者数] 									
	県の状況		— — ■ 無		前事業の	「 () () () () () () () () () () () () ()	■ 無 コ 有 実績)	事業:		恐竜モニ ∶	ュメン	ト等設置に係	系る占用許可	
役	業の有無割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担) -		市町と		福井市		20 P. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.			1. 4.以巨1~12	K & U Mat 4)	
[事業の評価] 前年度の実績 実績を踏まえ						た28年度の変更点 事業評価								
壁画ライト	トアップ、 頃性の創む	. ジュ 出を図	・ト開催(春、夏)やコンテンツ強化(恐竜 - ラチックモニュメント設置、AR強化等)	平成28年度予算では、既 状態に保つことで、広場のよる目標達成を目指す。	<u> </u>	テンツを常に良好な		拡充	•	縮減		8期の見直し	見直し額	
								継続		休止 廃止		完了 その他	△ 16,012	